

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	理念に基づき、実践につなげているが、地域との関わりが、感染症対策で自粛している。	感染症における環境を見極め、地域との生活を取り戻す。	ワクチンの流通など、今後の状況をしっかりと見極める。行事を計画し、地域と共同で開催する。	6ヶ月～
2	6	身体拘束を行わない。という姿勢を示す必要がある。	身体拘束的成果の指針を目視で確認できるようにする。	身体拘束的成果の指針を文字で表し、掲示する。	2ヶ月
3	35	災害対策について、年二回の防火訓練を、感染症対策で延期している。 備蓄の食糧リストがない。	防火訓練を行う。備蓄の食糧リストを作る。	感染症の状況を見ながら、確実に訓練を実施する。備蓄の確保は出来ているが、把握するためのリストを作成する。	6ヶ月～
4	45	風呂場の洗剤を窓の前のスペースに置いている。安全面にかけている。	並んでいるシャンプーなどのボトル用品が落下する危険性があるため、場所を変えて保管する。	浴室の空間を安らぎの場と考え、不要なものは排除する。	1ヶ月
5	49	日常的な外出支援について、感染症対策もあり、個別な外出支援を控えている。	外出支援や地域交流をはかる。	感染症の状況を見ながら、買い物同行や地域の方と交流を図る。	6ヶ月～
6	54	居心地の良い居室になっているか、排せつ用品が箆笥の上に乗っている。	プライバシーを守りつつ、安心できる居室にする。	排はつ用品は、人目につかないように、収納する。クロスやボックスも使い、プライバシーを守る。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。